

# 全国で子どもが29年連続減少 荒川区では、昨年比で微増...

日本共産党荒川区議会議員団

## 横山幸次

区政報告  
ニュース

**No. 384**

2010年5月 9日  
発行 日本共産党区議団  
Tel 3802-4627  
fax 3806-9246  
E-mail: arajcp@tcn-  
catv.ne.jp  
★町屋相談室  
荒川区町屋5-3-5  
Tel 3895-0504

横山幸次区議のホームページをご覧ください。  
※「横山区議」で検索して下さい。



「子どもの日」：荒川区の課題は  
保育と教育の環境整備が急がれます

子どもの日を前に、総務省は、15才未満児の推計人口について全国で前年より19万人少ない1694万人、29年連続減少と発表し、各紙も報道していました。

子どもは、県レベルで最低の秋田県11.2%と同程度です。最近の増加だけでも、保育園、学校が不足し大変な問題となりました。

将来と子どもの未来を見据え、目先の「財政効率主義」からの脱却があらゆる分野で求められます。

「財政効率優先」で阻害される  
子ども豊かな育ち

かつて荒川区は、学校統廃合を強行、南千住汐入の再開発でも当初計画にあった学校、保育園を作りませんでした。その結果、せっかく新しい町に希望を持って転入された子育て世代に方々に、働きたくても保育

私たちの区はどうでしょう。近年再開発やマンション建設もあって、若干ですが毎年15歳未満人口は、増加しています。しかし全国平均の人口比13.3%、東京都11.9%より下回り、

かつて荒川区は、学校統廃合を強行、南千住汐入の再開発でも当初計画にあった学校、保育園を作りませんでした。その結果、せっかく新しい町に希望を持って転入された子育て世代に方々に、働きたくても保育



	全国平均	13.3%
↑上位	沖縄県	17.7%
	滋賀県	15.0%
	愛知県	14.6%
	⋮	⋮
下位↓	北海道	12.0%
	東京都	11.9%
	秋田県	11.2%

(昨年10月現在)

### 荒川区の子ども人口(4/1現在)

	2010年4月	2009年4月	2008年4月	2007年4月
0~14才	21,105	20,575	20,256	19,780
比率	11.22%	11.10%	11.10%	11.08%
前年比増減	530	319	478	358
全人口	188,129	185,112	182,286	178,370

(住民基本台帳による・外国人は含まず)

4月29日開催の川の手まつりは、前日までの雨が嘘のような好天に恵まれ多くの参加者でにぎわいました。今年も、観光文化調査特別委員会の副委員長を務めている関係で開会式典への来賓登壇を要請され10時前に会場入りしました。今初めて最初からの参加でした。今回特徴的だったのは、友好都市をはじめ、全国22自治体から参加体から参加物産展など。



ミニSLで楽しむ親子と会場風景



「都市間競争」でなく都市が互いに共同協力して地域を守り発展させる地方自治体から発展したものです。

横山幸次

今年の「川の手まつり」は大にぎわい  
区民の参加と全国22の自治体からも参加

まちの話題あれこれ

★裏面もご覧下さい  
伝統工芸支援や都営  
住宅募集のお知らせ

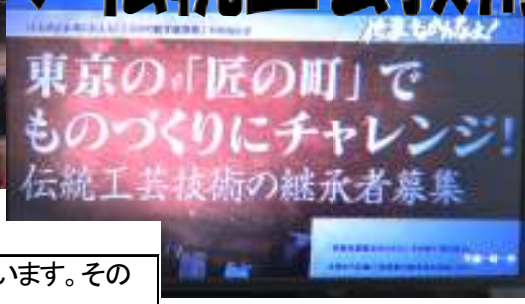
### 定例法律相談

5月10日(月)  
午後6時~8時  
横山区議事務所

弁護士と横山区議が相談をお受けします。  
秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介しますので、お気軽にご連絡ください。  
TEL&FAX 3895-0504  
不在時は、留守電へ、後で連絡します。



# 「頑固親方VS.フリーター」がTV放映… 荒川区の「伝統工芸技術育成者支援」に注目



**伝統工芸技術の継承とともに町工場の技術もものづくりの街再生へ、支援のいっそう強化を**

5月4日、NHK総合の新ホリデー日本で荒川区の伝統工芸技術育成者支援事業で職人見習い（ステップ1）になった若者取材した特集を視ました。大学卒業後大手食品会社に就職も4ヶ月で退社、その後自宅でフリーター…そんな若者が飛び込んだのが、これまで弟子が7人もやめていった江戸指物職人の見習いです。荒川区の伝統工芸技術継承の支援事業を使っ

てのものです

場が狭いと指導することもできません。また、生業としても厳しさもあります。常設展示・販売や作業場の確保など支援が必要で。また、危機的状態にある町工場の技術、技能を継承も考えるときです。

荒川区の伝統工芸は、区内でも質、量とも都内屈指です。悩みの一つは、跡継ぎがいらないことです。伝統工芸技術育成者支援事業は、そんな悩みにこたえる第一歩です。しかし作業



継承も考えるときです。

## 伝統工芸技術育成者支援事業とは

荒川区は、多くの伝統工芸技術保持者が活躍しています。その技術を未来に伝える支援事業です。

ステップ1 職人見習い	
職人さんのもとで見習いとして短期現場実習。3ヶ月後の審査でステップ2弟子入り修行に。	
期間	3ヶ月
対象	義務教育終了から30歳までの方、将来荒川区に住み伝統工芸の職人になる意思のある方
指導者	伝統工芸技術を持つ職人さん(伝統工芸技術保持者など)
補助金	現場実習生 3千円/日(上限月6万円) 指導者 5千円/日(上限月10万円)

ステップ2 弟子入り修行	
基本的にステップ1を終了後、弟子入りして本格的修行に。	
期間	3年間(最長6年まで)
対象	ステップ1終了後に、引き続き職人のもとで修行を希望する方。また、すでに区内伝統工芸職人のもとでの修行が6年以内で、基本的に将来3年以上区内に住み職人になる意思のある方
指導者	ステップ1に同じ
補助金	新規継承者への研修手当5千円/日(上限月10万円) 伝統工芸技術者への材料費補助上限月1万円 新規継承者への家賃助成上限月3万(区外からの転居者に限る)

ステップ3 独立への登竜門 若手職人作品コンクール
---------------------------

(詳しくは、荒川ふるさと文化館 3807-9234まで)

## 区政トピックス…

### あらかわ子育て応援店・企業認定制度がはじまりました

区は、子育て支援の一環として、「あらかわ子育て応援店・企業」認定事業を開始。子育て世代の外出促進を目的に子育てに優しいお店や企業を区が認定してPRするというものです。

「優しい内容」は、①子ども連れにプレゼントや割引②子ども連れ大歓迎③子どもや子育てのイベント、講座の開催など④子育て従業員支援（育休など）⑤ベビーステーション機能（授乳やおむつ交換スペース）などです。今回は、15店・事業所が認定。町屋では、飲食店、美容院など3店舗でした。利用は、区内在住者で「子育て応援店パンフ（ないし応援店のステッカー…左のマーク）を見た」とお店に伝える必要があります。区民以外はなぜだめなのでしょう？また子育て従業員支援がなかったのはなぜでしょうか？…

しかしもっと様々な子育て支援を考えるきっかけになれば、よいのではないのでしょうか。



## お知らせ

### 都営住宅の募集がはじまっています

**5月6日（木）～14日（金）**

この期間、申込用紙が配布されています。

締め切りは、5月18日までに渋谷郵便局到着分に限り受け付けます。

募集戸数は、全体で2175戸です。

区内は、以下の通りです。

- ☆世帯向け
  - 南千住8丁目 5戸 荒川1丁目 1戸
- ☆単身でも可
  - 町屋6丁目 2戸
  - (都内3年以上居住60才以上)
- ☆10年定期使用ファミリー向け
  - 2人以上 南千住4丁目 1戸 町屋6丁目 1戸
  - 3人以上 町屋6丁目 1戸 町屋5丁目 1戸
  - (世帯全員40才未満)



申込書の書き込みなどご相談下さい。